

# 活動報告書

2024年7月 市川素

暑い日が続きますが、休むことなくお蚕さんが我が家にやってきます。

## 今月の主な活動

7月中旬に夏蚕の作業が終わり、7月22日に出荷を迎えました。今回の蚕は、難しかったです。6月末から7月頭にかけて雨が降ったかと思えば35℃を超える猛暑日があったり、最も盛食期である大桑期間に温度が下がったのは不幸中の幸いでしたが、上族日もその後数日も雨、、、春に比べると繭になれずに死んでしまったお蚕さんも多かったです。また春よりも一生懸命桑をあげたつもりでしたが、繭の大きさはまちまちで小さなものも目立ちました。養蚕は奥が深い。

出荷後の繭の成績表を見てみると、昨年よりは収量は取れたものの、もう少し増えてほしいというような結果でした。



夏蚕から次の初秋蚕に移る間に、下仁田ネギの管理作業を行いました。今年は雨の後に晴天が続く、雑草がわんさかと、、、何とか雑草を引っこ抜き、ネギの畑をきれいにしました。とはいえ、やはり苗が小さかったこともあり生育はいまいち。基本の苗づくりの重要性を改めて感じています。



そして休む間もなく、7月28日からは初秋蚕がスタートしました。配蚕初日から35℃を超える気温、お蚕さんも飼育する自分自身も参ってしまいそうな天候が続いています。暑さに強い「なつこ」という品種を飼育していますが、この異常な暑さにまで耐えられるのか心配です。



## ○ご紹介

Facebook の富岡市地域おこし協力隊のページでも養蚕日誌として日々の活動を投稿していますので是非ご覧ください。

(<https://www.facebook.com/tomiokashi.chiikiokoshi>)

(\*本記事の記載内容は全て私見によるものであり富岡市の公式見解ではありません)